



野村 万作



野村 萬斎



野村 裕基



野村万作 新狂言の会

「狂言三代」

狂言 棒縛

狂言 水汲

狂言 蚊相撲

大名が新しい召使を抱えるが、実は人間の姿になった蚊の精だ。新しい召使は相撲が得意と聞き、喜んだ大名は早速取らせてみたいと思うが、自身が相手をする事...
娘(ちび)が野中の清水で洗濯をしていると、そこへ新発意(冒険心)がお茶の水を汲みにやってくる。娘に思いを寄せた主人は、大郎冠者を棒に次郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまう。それでも酒が飲みたいた二人は知恵を絞る...

出演 野村万作 野村萬斎 野村裕基 他

演目 狂言「蚊相撲(かずもう)」

狂言「水汲(みずくみ)」

狂言「棒縛(ぼうしばり)」

六五〇年以上の歴史を誇る、日本古来の伝統芸能。芸を追求し続ける人間国宝・野村万作、多彩な才能を発揮する野村萬斎が、室町時代から続く最古の喜劇「狂言」の世界へ誘います。

2024. 9/27(金)

開場 18:30 開演 19:00

黒部市国際文化センター

カラーレ (野外能舞台)

一般5,000円 高校生以下1,000円
障がい者手帳をお持ちの方4,000円

チケット一般発売日
8月4日(日)9:00~

■プレイガイド: カラーレ、チケットぴあ (Pコード 527-488)

■当日は18:20に、チケットの「整理番号」順に整列の上、順次ご入場いただけます。

●未就学児の入場はご遠慮願います。

●雨天が予想される場合は雨合羽等をご用意ください。天候によっては、会場がカーターホールに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

●車椅子の方、補助犬をお連れの方は、座席の相談を承りますので、カラーレまでお問い合わせください。●この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。

主催/公益財団法人黒部市国際文化センター 共催/チューリップテレビ 後援/黒部市 黒部市教育委員会 北日本新聞社

狂言チャレンジワークショップ 笑いの演劇「狂言」を楽しく体験♪

講師: 高野和憲 (狂言師)、岡聡史 (狂言師) 対象: 小学生~大人
日時: 8月27日(火) 18:30~20:00 参加費: 一般 1,000円
会場: 黒部市国際文化センター カラーレ 高校生以下500円



●お問い合わせ● 黒部市国際文化センターカラーレ 〒938-0031 黒部市三日市20番地

TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207

info@colare.jp https://www.colare.jp/

ホームページ公式サイト

LINE公式アカウント

日本最古の喜劇“狂言”をご堪能ください。

一九三二年生。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）、文化功労者、日本芸術院会員。二〇二三年文化勲章受章。祖父・故初世野村萬齋及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞等多数の受賞歴を持つ。『月に憑かれた巨匠』『子午線の祀り』『秋江』『法螺寺』『敦山月記・名人伝』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。近年では、『楯山節考』の再演に取り組み、大きな成果をあげている。

野村万作

狂言師



野村万作 新狂言の会

万作、萬齋、裕基の
狂言三代

650年の歴史を誇る、日本古来の伝統芸能。芸を追求し続ける人間国宝・野村万作、多彩な才能を発揮する野村萬齋が室町時代から続く最古の喜劇「狂言」の世界へ誘います。

野村萬齋

狂言師

一九六六年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言」を語る乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦山月記・名人伝』『子午線の祀り』、能 狂言『鬼滅の刃』『ハムレット』など古典の技法を駆使した作品の演出で幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通して狂言の在り方を問っている。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大賞能楽賞、松尾芸能賞大賞を受賞した。石川県立音楽堂アーティストック・クリエティブ・ディレクター。東京藝術大学客員教授。（公社）全国公立文化施設協会会長。

野村裕基

狂言師

一九九九年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶應義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。三歳の時に『鞍馬』で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、『三番叟』『奈須与市語』『釣狐』を抜き、「万作の会」の若手狂言師のひとりとして舞台を務めている。二〇二三年三月には世田谷パブリックシアター『ハムレット』でタイトルロールを演じ、活動の場を広げている。

新狂言 番組

解説 中村修一

狂言

蚊相撲

かずもろ

大名が新しい召使を抱えようと、太郎冠者に探しに行かせる。そこへ都に上り人の血を吸うため、人間の姿になった江州守山の蚊の精が通りかかり、正体に気づかない太郎冠者は蚊の精を連れ帰る。新しい召使は相撲が得意と聞き、喜んだ大名は早速取らせてみたいと思うが、相手がいないのでやむなく自身で相手をする。蚊に刺されて目を回してしまふ。蚊の正体に気づいた大名は、勝つためにもものを持ち出すのだか……。

人間である大名と蚊の精が相撲を取るといふ、何とも奇想天外な作品です。大らかな大名と、蚊の特徴がデフォルメされた蚊の精の動きにご注目ください。

大名 野村萬齋

太郎冠者 深田博治

蚊の精 内藤 連

後見 岡 聡史

狂言

水汲

みずくみ

娘（いちや）が野中の清水で洗濯をしていると、そこへ新発意（見習い坊主）がお茶の水を汲みにやってくる。かねてから娘に思いを寄せていた新発意は、小歌まじりに言い寄るのだが……。かけあいでも謡う小歌は中世の流行歌謡。叙情性あふれる演目です。

新発意 野村万作

いちや 飯田 豪

後見 月崎晴夫

狂言

棒縛

ぼうしばり

二人の家長が、留守番中に酒蔵の酒を盗み飲んでいたら主人は、太郎冠者を棒に、次郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまう。それでも酒が飲みたい二人は知恵を絞って、縛られたまま酒を飲むことに成功する。酔った二人が謡えや舞えやと大騒ぎしていると……。自由の利かない手で酒蔵の戸を開けたり、舞を舞ったりと、遊び心に裏付けられた自由さがある作品です。観ているこちらも心楽しくなる、狂言の代表作の一つです。

太郎冠者 野村裕基

主 岡 聡史

次郎冠者 中村修一

後見 内藤 連